

博物館の機能強化に関する調査

概要

- 文化庁「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」の一環として、「博物館の機能強化に関する調査」を実施する。
- 博物館内外の環境分析や、有識者ヒアリング、調査委員会における議論を通して、「新しい博物館の在り方」を展望した上で、学芸員養成課程の再検討や学びなおしの仕組みの創出、学芸員の資質向上を支える環境整備等について検討を行い、「博物館の機能強化」に資する取組の方向性について検討を行うことを目的とする。
- 今後調査を実施し、年度内に調査報告書を取りまとめる予定。（委託先：みずほ総合研究所株式会社）

◆ 調査内容（案）

項目	背景と概要
①学芸員養成制度の運用実態の把握	<ul style="list-style-type: none"> 本調査内において学芸員養成課程を開設する大学の課に対して、アンケート調査を実施し、運用実態について把握する
②学芸員に求められる資質・能力と 現行の学芸員養成制度のギャップの把握	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済情勢の変化の中で、博物館にも従来の「調査研究、収集保存、展示教育」といった基本的な機能に加えて、市民やまちづくり、観光との連携等、新しい社会的役割が求められるようになってきている 博物館の役割が変化するに従い、その機能の中心を担う学芸員の役割も変化していると考えられることから、学芸員に求められる能力・資質と現行の学芸員養成制度とのギャップを把握し、今後の政策の方向性について検討する
③博物館部会に対する基礎資料の提供 (博物館関連分野の有識者ヒアリング)	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁文化審議会内に設置された博物館部会における議論の資料とすることを目的として、学芸員養成制度、博物館観光、博物館と大学等との連携、博物館登録制度、博物館倫理等、博物館に関連する分野の有識者に対してヒアリングを行い、専門家の視点から今後の博物館行政について幅広く意見徴収を行う